

福祉体験学習【福祉コース】

福祉体験で小学生と交流！

11月28日（木）、常陸大宮市立緒川小学校の4年生の児童を対象に、福祉体験学習を実施しました。今回は、2学年の福祉コースの生徒7名が、講師役を務めました。本校の生徒にとっても、学んだ内容を小学生に伝えることで、自分自身の福祉の学びの深化を図ることができます。また、教科横断的学習の取組として、本校2学年の「家庭総合」を選択している生徒が折り紙名札を作成し、小学生を迎える準備を手伝いました。



福祉コースの生徒は、今回の体験学習に向けて一生懸命準備をしていました。
準備した成果が出ましたね！

まず、認知症とはどのような症状かについて説明したり、日常生活で起こりうる症状についてクイズを出題したりしました。次に、認知症になったお年寄りを模した寸劇を行いました。実際の様子を見て、小学生は驚いているようでした。最後に、車椅子体験を実施しました。高校生の説明を聞いた後、小学生がペアになって交代しながら実践し、車椅子に乗っている人への心遣いについて学んでいきました。押す人だけではなく、乗る人も体験することで、乗っている人にしか分からない怖さなども体験できた様子でした。



小学生は事前の説明を真剣に聞いていました。車椅子体験では、押し方やスロープ体験など高校生もていねいに教えている様子が見られました。

福祉体験を終え、高校生からは「小学生とふれあうことができてよかった」「親切に教えてあげることができた」「最後に小学生のみんなからお礼を言ってもらえて、がんばったかいがあった」といった感想が寄せられました。また、小学生からは「話を聞いたり、体験をしたり、いろんな学習ができてよかった」「車椅子を押す時に、高校生が優しくしてくれて嬉しかった」といった感想が寄せられました。

異校種・異学年での交流は、お互いに学ぶことが多いようです。今日の体験学習を通して、たくさんのことを学びましたね。



継承と開拓～ここにしかない ここだからある～